

第12回広島国際アニメーションフェスティバル

記者発表資料

1	第12回広島国際アニメーションフェスティバルについて	1
2	大会プログラムについて（予定）	3
3	選考審査結果について	6
4	本審査(コンペティション)について	14
5	会場位置図	15

《配布資料》

デモテープ作品及びコンペティションスチル写真リスト
特別プログラムスチル写真リスト
スチル写真（データ渡し）
チラシ

平成20年6月6日（金）11:00～
プレスセンター9階宴会場

広島国際アニメーションフェスティバル

実行委員会事務局

問い合わせ先（担当：久保田）
〒730-0812 広島市中区加古町4番17号
TEL 082-245-0245
FAX082-245-0246

1 第12回広島国際アニメーションフェスティバル開催概要

1 事業名称 第12回広島国際アニメーションフェスティバル

(英語表記 The 12th International Animation Festival, Hiroshima 2008)

2 メインテーマ 愛と平和 (LOVE & PEACE)

3 目的

- (1) 国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、人類が平和に生きることを追求するA S I F A (国際アニメーションフィルム協会)の心と、世界の恒久平和を願うヒロシマの心が一つになって行う、「愛と平和」を希求する祭典とする。
- (2) 国内外から参加する多くの人々が世界最初の被爆地広島で被爆の実相に触れることにより、人間相互の尊厳を理解するとともに、平和意識の高揚と友愛・連帯の輪の広がりを願い、世界平和の実現に寄与する。
- (3) 世界の著名なアニメーション作家が一堂に会し、作家と参加者が集い、ふれあいながら、傑出した作品を鑑賞することにより、世界のアニメーション芸術の普及・発展及び映像文化の振興・映画産業の発展に寄与する。

4 主催団体等

主催 広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会

広島市、広島市文化財団

共催 国際アニメーションフィルム協会日本支部

公認 国際アニメーションフィルム協会

協力 日本アニメーション協会

支援 文化庁国内映画祭支援

助成 日本自転車振興会、国際交流基金

後援 外務省、経済産業省

広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島平和文化センター

中国経済連合会、広島商工会議所、広島県経営者協会、広島経済同友会

広島青年会議所

映像文化製作者連盟、日本動画協会、日本映画テレビ技術協会、

中国新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、

産経新聞社、共同通信社、時事通信社

N H K 広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、

広島エフエム放送、FM ちゅーピー76.6MHz

アニマックスブロードキャスト・ジャパン

ふれあいチャンネル、ひろしまケーブルテレビ

広島市 PTA 協議会

5 概要

世界各国・地域から応募されるアニメーション作品を選考審査（非公開）及び本審査（一般公開）により、グランプリなどの優秀作品を選考するコンペティションを行うほか、国内外の有名作家の作品、他のアニメーション映画祭の優秀作品、子ども向けのアニメーション作品などを上映する特別プログラム、プレゼンテーション、展示会、セミナー、ワークショップなどで構成する総合的なアニメーション映画祭とする。

6 会期 平成20年8月7日(木)～8月11日(月)

7 会場 アステールプラザ（広島市中区加古町4番17号）

8 国際名誉会長 ポール・ドリエセン（アニメーション映画監督・プロデューサー）

9 コンペティション

(1) 選考審査 平成20年5月9日(金)～5月25日(日)

(2) 本審査対象作品数 60作品(予定)

(3) 国際選考委員(選考審査) 5名(日本人1名、外国人4名)

ラオ・ヘイドメッツ (エストニア アニメーション映画監督)

エレナ・チェルノヴァ (ロシア アニメーション映画監督 デザイナー)

ソフィー・ロッジ (イギリス アニメーター アーティスト)

レイ・コサリン (アメリカ アニメーション映画監督 プロデューサー)

西本 企良 (にしもと・きよし 日本 アニメーション作家 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科教授 ASIFA 日本支部理事)

(4) 国際審査委員(本審査) 6名(日本人1名、外国人5名)

(5) 賞の種類及び賞金

・グランプリ	1点	100万円
・ヒロシマ賞	1点	100万円
・デビュー賞	1点	50万円
・木下蓮三賞	1点	30万円
・ルネ・ラルー賞	1点	2,000米ドル(約24万円)
・観客賞	1点	10万円
・国際審査委員特別賞	数点	賞金なし
・優秀賞	数点	賞金なし

2 大会プログラムについて（予定）

現時点で決定しているプログラムについてお知らせいたします。今後さらに多くの特別プログラムを追加する予定です。

大会プログラム及びサブイベント

1 コンペティション

世界各国・地域から応募されたアニメーション作品の中から、選考審査で選ばれた作品について、大会開催期間中、国際審査委員による審査により、グランプリ、ヒロシマ賞を決定する。また、来場者による投票により、観客賞を決定する。

2 特別プログラム

ピクサー・アニメーション・スタジオ短編最新作「プレスト」（日本初公開）
上映と 監督によるメイキング・セミナー

ザ・ウォルト・ディズニー・カンパニー短編最新作「グラゴーズ・ゲスト」
（日本初公開）上映と監督によるセミナー

ポール・ドリエセン特集

本大会の国際名誉会長を務めるポール・ドリエセンの作品の上映とセミナー

④ 手塚治虫特集

今年、生誕80周年を迎える手塚治虫の代表的な作品の上映とゲストによるトーク。上映作品には「鉄腕アトム」を含むTVシリーズから「おんぼろフィルム」等の短編作品まで幅広く予定している。

⑤ ピロット・アニメーション・スタジオ特集

現在、ロシアで最も意欲的な作品を生みだしている同スタジオの作品を上映。なかでも、故アレクサンドル・タタルスキーをたたえ、その代表的作品の数々を上映。

⑥ オリンプ・ヴァラシュテアヌ、ジェオルジェ・スイビアヌ特集

ルーマニアのアニメーションのパイオニア的存在である、故オリンプ・ヴァラシュテアヌと故ジェオルジェ・スイビアヌの2名の監督へのオマージュとして、その代表的作品の数々を上映。

⑦ **フィンランド特集**

フィンランドの優れたアニメーションの数々を特集して上映。あわせて、フィンランドを紹介する展示を行う。

⑧ **学生優秀作品集**

若手の才能を発掘するプログラム。世界の学生が制作した秀作を多数上映。

⑨ **平和のためのプログラム**

広島精神と心をつなげた、平和をテーマとする優秀作品を上映。

⑩ **子供のためのアニメーション**

子供向けに製作された世界の優秀作品を上映。

⑪ **ドニョ・ドネフ特集**

昨年逝去したブルガリアの巨匠、ドニョ・ドネフへのオマージュ。代表的9作品一挙上映。

⑫ **「ファインディング・ニモ」ジョン・ラセター監督作品、特別上映**

第74回(2004年)アカデミー賞(R)を受賞した、ピクサー・ディズニー製作長編アニメーションを特別上映。

⑬ **ディズニークラシック「シンデレラ」**

ディズニークラシックの傑作「シンデレラ」をオープニングを飾る作品として特別上映。

⑭ **ラストコ・チーリッチの作品上映と展示。**

セルビアの監督チーリッチ氏の作品上映と展示。

⑮ **デービッド・アーリッヒ展示**

アメリカの監督アーリッヒ氏の絵画等の展示。

11 サブイベント

① **フレーム・イン**

プロを目指す若者を対象に、作品を発表し、アニメーション制作の専門家から指導を受けるとともに、相互の情報交換を行う場を提供。

② **ネクサス・ポイント**

作家個人や制作会社と映画配給者とのビジネス交流の場として実施。

③ キッズ・クリップ

子どもたちを対象に、アニメーションを表現メディアのひとつとして体験、学習する場として、世界の子ども向け作品の上映やクレイアニメーションの制作体験の場を提供。

④ マッキントッシュ・アニメーション・メイキングワールド

広く来場者を対象に、パソコンによる簡単なアニメーションの制作を体験できる場を提供。

3 選考審査結果について

① 選考審査の概要

世界各国・地域から応募された1,656本のアニメーション作品から8月の本審査（コンペティション）で上映する作品を選定した。

◎本大会	平成20年8月7日（木）～8月11日（月）
◎コンペティション	平成20年8月7日（木）～8月10日（日）
◎場所	アステールプラザ（中区加古町4番17号）

(1) 期間

平成20年5月9日（金）から25日（日） 17日間

(2) 会場

広島市映像文化ライブラリー 広島市中区基町3番1号
（一部、アステールプラザでも実施）

(3) 選考方法

国際選考委員が全応募作品を審査し、コンペティション対象作品を決定した。

(4) 国際選考委員（5名）

氏名	国籍
レイ・コサリン （選考委員長）	アメリカ
ラオ・ヘイドメッツ	エストニア
エレナ・チェルノヴァ	ロシア
ソフィー・ロッジ	イギリス
西本 企良	日本

(5) 選出作品

76作品

国際選考委員について

国際選考委員は以下の5名です。

 <p>ラオ・ヘイドメッツ</p>	<p>パルヌ（エストニア）生まれ。1981年、タリン工業大学電気エネルギー学部を、電気回路体系網エンジニアとして卒業。1982年、進路を変更し、タリンフィルム・スタジオに参加。当初アニメーターとして、1983年からはディレクターとして作品を制作。1991年、自身のスタジオ、ラオ・ヘイドメッツ・フィルムスタジオを設立。彼の作品は、短編、長編ともに、さまざまな国際映画祭で公式上映され、数多くの賞を受賞している。なかでも、「シアター・パパ・カルロ」（1988年）はシナマ'89（ポルトガル）でグランプリを受賞し、「リビングルーム」（1994年）はKROK'03国際アニメーションフェスティバル（ウクライナ）で批評家及び審査委員特別賞を受賞している。また、ヘイドメッツは、ヨーロッパや北米・南米において子どもや学生、プロの制作者を対象としたアニメーション・ワークショップを数多く開催している。一方、シナマ'90（ポルトガル）、オーデンセ'01（デンマーク）、メッセージ・トゥ・マン'06（ロシア）、KROK'07等、多くの国際映画祭で審査員を務めている。1996年より、エストニア・アニメーション・ユニオンの委員長を務めている。また、1997年から99年、エストニア・フィルム財団の専門理事を、1999年から2001年、エストニア国立TVの青少年向け番組エグゼクティブ・プロデューサーを務めた。2006年よりタルトゥ美術大学でアニメーションを教えている。</p>
 <p>エレナ・チェルノヴァ</p>	<p>スヴェルドロフスク（現在のエカテリンブルグ、ロシア）生まれ。美術大学を優等で卒業し、モスクワの軽工業技術専門教育機関を卒業後、履物のデザイナーとなる。1990年、ピロット・アニメーション・スタジオのアニメーション講座を受講し、中割り、レイアウトからアニメーション制作全般をすべて学んだ。その後、広告代理店のデザイナー、アーティスト、アート・ディレクターとして勤務。2002年、フョードル・ヒートルークとエドアルド・ナザロフの指導による脚本と監督のための上級講座を卒業後、ピロット・アニメーション・スタジオにディレクターとして勤務、現在に至る。ロシア国内外の国際映画祭で受賞多数。代表作に、「アバウト・ア・ガール…」（2002年）、「2+1=」（2003年）、「賢い娘」（2005年）、「アイ・ウォント・テル！」（2006年）、「召使いウサギ」（2007年）がある。</p>
 <p>ソフィー・ロッジ</p>	<p>イギリス生まれ。カナダ、マルタ、ザンビア、ケニア等の国を移り住んだ幼少の頃よりアニメーション制作を始め、11歳の時には、地元のTV局で初の商業作品が放映されている。美術大学でグラフィック・デザインを学ぶため、ロンドンに移住、その後、ロンドン・スクール・オブ・アニメーションを優等で卒業。BBCドキュメンタリー「ウォーキング・ウィズ・ダイノソア」（1999年放映）の恐竜のアニメーション制作によりプロとしてのキャリアを始め、引き続き同じ恐竜をテーマとしたBBC特別番組「ビッグ・アルのパラード」でエミー賞にノミネートされる。さらに、BBCの長期プロジェクト、アーサー・コナン・ドイル原作「失われた世界」にも参加。商業制作にしばらく携わった後、2003年には「ロード・オブ・ザ・リング - 王の帰還」の制作に参加するためウェリントン（ニュージーランド）に移住。2004年、研究休暇を取り、ケニアのラム島にて、旅行プロモーションのパンフレットデザイン等を手がける。また、その地でロバに魅了されて描き、作品「ドンキー・ウィズアウト・ボーダー」は、ラム島とロンドンで展示された。2006年初頭、再びピーター・ジャクソン監督の仕事に携わるためウェリントンに戻り、「キング・オブ・ザ・ヒル」の制作に加わる。現在、ロンドンとニューヨークでフリーランスとして仕事をしている。</p>



レイ・コサリン
(国際選考委員長)

アメリカ国内制作および国際共同制作による映画やテレビ番組のためのアニメーションを制作、監督している。ヨーロッパでは、スウェーデンのスウェンスク・フィルムインダストリ制作のシリーズ「ザ・ワールド・オブ・トシユ」総監督、ニケロデオン/フォックスのシリーズ「ザ・スリー・フレンズ・アンド・ジェリー」ヘッドディレクター、さらにフォックス/スカイのための「ダ・モブ」総合プロデューサーを務めている。一方、アメリカでは、ヒットシリーズ「ダリア」総監督、TV シリーズ「ビーバス・アンド・バット・ヘッド」「ザ・ヘッド」監督、パラマウントの長編「ビーバス・アンド・バット・ヘッド・ドゥ・アメリカ」監督を務めている。さらに、NBC 番組「サタデー・ナイト・ライブ」や「セサミ・ストリート」、ブロードウェイ舞台用のアニメーションを手がけ、また、プライムタイムのTV 特番のアニメーションを監督し、なかでも、HBO のミュージカル「イラ・スリープス・オーバー」は最優秀アニメーション番組を称える ACE アワードを受賞。劇場用短編作品「アングル」はアヌシー (フランス)、ザグレブ (クロアチア)、広島、ブラックマリア (アメリカ)、アニマ・ムンディ (ブラジル) 等、多くの重要な国際映画祭にて招待上映されている。

1998 年、コサリン・プロダクションズを設立し、海外のクライアントに対応し、また特別プロジェクトのためにヨーロッパのアーティストたちとのコラボレーションを促進している。現在、ニューヨークのスクール・オブ・ヴィジュアルアーツで教鞭をとり、ASIFA-East 支部役員理事および ASIFA 本部理事を務めている。



西本企良
(にしもと きよし)

山口県下関市生まれ。1975 年、武蔵野美術大学造形学部産業デザイン学科商業デザイン専攻 (現・視覚伝達デザイン学科) 卒業。同学科の助手を務めた後、1982 年からフリーランス・アニメーターとして、各種博覧会や博物館、CM や TV 番組オープニングタイトル、TV 科学番組などのためのアニメーションを手掛ける。教育用マルチメディア・ソフトでのインタラクティブな作品もある。1985 年から 2004 年まで武蔵野美術大学非常勤講師としてアニメーション教育にも携わる。2005 年に同大学教授就任後は、主として情報デザインの分野におけるアニメーションの可能性を研究対象としている。自主作品に「積層体」(1982 年)、「笑う月」(2000 年) などがあり、「笑う月」は、韓国メディア・シティ・ソウル国際アニメーション映画祭 2002 グランプリ受賞、また、ブラジルのアニマ・ムンディ 2002 国際映画祭では子どものためのベスト・アニメーション第 2 位を受賞している。現在、ASIFA 日本支部理事。

② 国（地域）別応募作品状況及びコンペティション選出結果

	国（地 域）名	選 考 作品数	コンペ 選出数		国（地 域）名	選 考 作品数	コンペ 選出数
1	イスラエル	25	2	33	ハンガリー	26	1
2	イラン	11		34	フィンランド	18	
3	インド	11		35	フランス	166	10
4	ウズベキスタン	2		36	ブルガリア	6	
5	カザフスタン	1		37	ベラルーシ	2	
6	シンガポール	3	1	38	ベルギー	35	3
7	タイ	5		39	ポーランド	21	2
8	大韓民国	179		40	ボスニア・ヘルツェゴビナ	4	
9	台湾	40		41	ポルトガル	21	1
10	中華人民共和国	23		42	ラトビア	3	1
11	トルコ	19		43	リトアニア	1	
12	日本	249	3	44	ルーマニア	3	
13	マレーシア	10		45	ロシア	51	13
	アジア計	578	6		ヨーロッパ計	746	52
14	アイルランド	4		46	アメリカ	133	7
15	イギリス	130	12	47	カナダ	115	5
16	イタリア	14			北アメリカ計	248	12
17	ウクライナ	2		48	アルゼンチン	5	2
18	エストニア	8	1	49	コロンビア	7	
19	オーストリア	22		50	チリ	1	
20	オランダ	7		51	ブラジル	20	1
21	ギリシャ	4		52	ベネズエラ	2	
22	クロアチア	7		53	メキシコ	3	
23	スイス	20	1		中・南アメリカ計	38	3
24	スウェーデン	18		54	南アフリカ	1	
25	スペイン	23			アフリカ計	1	0
26	スロバキア	5		55	オーストラリア	40	3
27	スロベニア	3	1	56	ニュージーランド	5	
28	セルビア	7			オセアニア計	45	3
29	チェコ	11	1		合 計	1,656	76
30	デンマーク	16	1		国（地域）数	56	22
31	ドイツ	73	4		選考作品	56 力国・地域	
32	ノルウェー	15			コンペ作品	22 力国・地域	

③ コンペティション上映リスト

8月7日(木) コンペティション				上映時間 2時間02分52秒
番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	A Sunny Day ア・サニー・デイ	ドイツ	06分05秒	Gil Alkabetz ギル・アルカベツ
	Riverwind Casino Card Trick リヴァーウィンド・カジノ・カード・トリック			
2	Riverwind Casino Card Trick リヴァーウィンド・カジノ・カード・トリック	アメリカ	00分30秒	Aleksandra Korejwo アレクサンドラ・コレジョ
	Rain Down from Above レイン・ダウン・フロム・アバヴ			
3	Rain Down from Above レイン・ダウン・フロム・アバヴ	ロシア	07分45秒	Ivan Maksimov イワン・マクシモフ
	Dji Vou Veu Volti アイ・ラヴ・ユー			
4	Dji Vou Veu Volti アイ・ラヴ・ユー	ベルギー	11分18秒	Benoit Feroumont ベノア・フェルモント
	Lapsus ラブサス			
5	Lapsus ラブサス	アルゼンチン	03分30秒	Juan Pablo Zaramella ホワン・パブロ・ザラメラ
	Bare ベア			
6	Bare ベア	アメリカ	03分00秒	Andy Lyon アンディ・ライオン
	Lullaby ララバイ			
7	Lullaby ララバイ	ロシア	13分44秒	Andrey Zolotukhin アンドレイ・ゾロトゥヒン
	Dreams and Desires- Family Ties ドリームズ・アンド・デザイア - ファミリー・タイズ			
8	Dreams and Desires- Family Ties ドリームズ・アンド・デザイア - ファミリー・タイズ	イギリス	09分50秒	Joanna Quinn ジョアンナ・クインヌ
	Birth バース			
9	Birth バース	ブラジル	03分39秒	Alê Abreu アレ・アブレウ
	KJFG No. 5 KJFG No. 5			
10	KJFG No. 5 KJFG No. 5	ハンガリー	02分00秒	Alexei Alexeev アレクセイ・アレクセイェフ
	Candid キャンディド			
11	Candid キャンディド	ポルトガル	11分05秒	Zepe ゼペ
	Ten Thousand Pictures of You テン・サウザンド・ピクチャーズ・オヴ・ユー			
12	Ten Thousand Pictures of You テン・サウザンド・ピクチャーズ・オヴ・ユー	イギリス	03分01秒	Robin King ロビン・キング
	X & Y X & Y			
13	X & Y X & Y	イギリス	03分20秒	Steve May スティーヴ・メイ
	Lavatory Lovestory ラヴァトリー・ラヴストーリー			
14	Lavatory Lovestory ラヴァトリー・ラヴストーリー	ロシア	09分39秒	Konstantin Bronzit コンスタンティン・ブロンジット
	Abridged アブリッジド			
15	Abridged アブリッジド	アメリカ	03分35秒	Arjun Rihan アルジュン・リハン
	Franz Kafka' s A Country Doctor カフカ 田舎医者			
16	Franz Kafka' s A Country Doctor カフカ 田舎医者	日本	20分56秒	Koji Yamamura 山村 浩二
	The Street Cleaner on the Moon ザ・ストリート・クリーナー・オン・ザ・ムーン			
17	The Street Cleaner on the Moon ザ・ストリート・クリーナー・オン・ザ・ムーン	ロシア	07分00秒	Konstantin Golubkov コンスタンティン・ゴロブコフ
	The Tourists ザ・ツーリスツ			
18	The Tourists ザ・ツーリスツ	カナダ	02分55秒	Malcolm Sutherland マルコム・サザランド

8月8日(金) コンペティション

上映時間
2時間01分51秒

番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Don't Let It All Unravel ドント・レット・イット・オール・アンラヴル	イギリス	02分05秒	Sara Cox サラ・コックス
2	Their First Journey ゼア・ファースト・ジャーニー	フランス	09分33秒	Grégoire Sivan グレゴール・シヴァン
3	N.E.mation! II - Nation Moulders N.E.メーション II - ネイション・モウルダース	シンガポール	01分00秒	Joshua Ngiam ジョシュア・ヌギヤム
4	Coincidence コインシデンス	ポーランド	08分05秒	Joanna Rusinek ジョアンナ・ルシネック
5	Love Triangle ラヴ・トライアングル	イギリス	03分15秒	Yasmeen Ismail ヤスミン・イシュマエル
6	Minuscule - The Ladybug ミナスキュル - てんとう虫	フランス	05分32秒	Thomas Szabo トマス・サボ
7	John and Karen ジョン・アンド・カレン	イギリス	03分30秒	Matthew Walker マシュー・ウォーカー
8	All Right! オール・ライト!	ベルギー	07分15秒	Thierry Van Hasselt ティエリー・ファン・ハセルト
9	The Heart Is a Metronome ザ・ハート・イズ・ア・メトロノーム	フランス	04分30秒	Jean-Charles Mbotti Malolo ジャン・シャルル・ムボッティ・マロロ
10	Zhiharka ジハルカ	ロシア	13分12秒	Oleg Uzhinov オレグ・ウジノフ
11	Good Morning グッド・モーニング	アメリカ	01分15秒	David B. Levy デイヴィッド・レヴィ
12	Mother and a Music マザー・アンド・ア・ミュージック	ロシア	14分14秒	Julia Aronova ユリヤ・アロノヴァ
13	Beton ベトン	イスラエル	05分59秒	Ariel Belinco, Michael Faust アリエル・ベリンコ、マイケル・ファウスト
14	The Old, Old, Very Old Man ジ・オールド・オールド・ヴェリー・オールド・マン	イギリス	06分38秒	Elizabeth Hobbs エリザベス・ホップス
15	Zoologic ズーロジック	アメリカ	04分28秒	Nicole Mitchell ニコール・ミッチェル
16	Paradise パラダイス	カナダ	07分50秒	Jesse Rosensweet ジェシー・ロゼンスウィート
17	The Little Mouse and the Fox ザ・リトル・マウス・アンド・ザ・フォックス	ロシア	05分21秒	Olga Chernova オルガ・チェルノヴァ
18	Just in Case ジャスト・イン・ケイス	アメリカ	01分12秒	Joshua Frankel ジョシュア・フランケル
19	Glow グロウ	イギリス	04分22秒	Jo Lawrence ジョー・ローレンス
20	The Bridge ザ・ブリッジ	フランス	12分35秒	Vincent Bierrewaerts ヴァンサン・ビエウエルツ

8月9日(土) コンペティション

上映時間
2時間04分12秒

番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	Spontaneous Generation スポンテニアス・ジェネレーション	アメリカ	04分36秒	Andy Cahill アンディ・ケイヒル
2	A Little Farther ア・リトル・ファーザー	フランス	02分00秒	François-Marc Baillet フランソワ・マルク・バイエ
3	Even in Dreams イーヴン・イン・ドリームズ	フランス	07分38秒	Alice Taylor アリス・テイラー
4	A-Z A-Z	イギリス	03分23秒	Sally Arthur サリー・アーサー
5	Dog Days ドッグ・デイズ	フランス	15分45秒	Geoffroy De Crecy ジェフロイ・デ・クレシー
6	Hello Antenna ハロー・アンテナ	ドイツ	04分06秒	Anna Samoylovich , Veronika Samartseva アンナ・サモイロヴィッチ、ヴェロニカ・サマルツェヴァ
7	Dog with Electric Collar ドッグ・ウィズ・エレクトリック・カラー	オーストラリア	04分39秒	Steve Baker スティーヴ・ベイカー
8	Kuy Gorozh クイ・ゴロジェ	ロシア	13分07秒	Sergey Merinov セルゲイ・メリノフ
9	Gary and Mildred ギャリー・アンド・ミルドレッド	イスラエル	05分44秒	Rivka Press リヴカ・プレス
10	Foolish Girl デヴォチカ・ドウラ	ロシア	06分51秒	Zojya Kireeva ゾヤ・キリエーヴァ
11	Oktapodi オクタポディ	フランス	02分29秒	Julien Bocabeille , François Xavier Chanioux, Olivier Delabarre , Thierry Marchand Quentin Marmier , Emud Mokhberi ジュリヤン・ボカビエル、フランソワ・ザビエ・シャニューー、オリビエ・デラバー、ティエリー・マシヨール、クエンティン・マミエール、エムド・モクベリ
12	The Man and the Woman ザ・マン・アンド・ザ・ウーマン	ロシア	12分57秒	Maria Mouat マリヤ・モアト
13	The Runaway Nose ザ・ラナウェイ・ノーズ	オーストラリア	00分30秒	Michael Cusack マイケル・キュザック
14	Mrs G ミセス・ジー	チェコ	12分05秒	Michal Zabka ミハエル・ザブカ
15	Weiss ワイス	ドイツ	05分09秒	Florian Grolig フローリアン・グロリッグ
16	Cracks クラックス	フランス	09分34秒	Nicolas Pawlowski , Alexis Ducord ニコラ・パウウォフスキー、アレクシス・ドゥコー
17	まよなかのいちご	日本	03分36秒	Yoshitaka Takeuchi 竹内 良貴
18	Subservience サブサーヴィエンス	カナダ	08分11秒	Patrick Bouchard パトリック・ブシャール
19	Global Warming グローバル・ウォーミング	オーストラリア	01分52秒	Sheldon Lieberman シェルドン・リーバーマン

8月10日(日)コンペティション

上映時間
2時間05分16秒

番号	題名(英語) 題名(日本語)	国名	時間	ディレクター名
1	This Way Up ジス・ウェイ・アップ	イギリス	08分53秒	Alan Smith , Adam Foulkes アラン・スミス、 アダム・フォークス
2	Prof Nieto Show (Episode 1) プロフェサー・ニエト・ショウ(エピソード1)	フランス	03分31秒	Luis Nieto ルイ・ニエト
3	The Tiny Fish リャブカ	ロシア	09分34秒	Sergei Ryabov セルゲイ・リャボフ
4	Sony Bravia "Play Doh" ソニー・ブラヴィア「プレイ・ド」	イギリス	01分34秒	Frank Budgen , Darren Walsh フランク・バジェン、 ダレン・ウォルシュ
5	Grrrrr... グルル...	イギリス	04分00秒	Grigoris Leontiades グリゴリス・レオンティアデス
6	La Maison Petits Cubes つみきのいえ	日本	12分08秒	Kunio Kato 加藤 久仁生
7	Office Noise オフィス・ノイズ	デンマーク	03分45秒	Mads Johansen , Torben Sottrup Karsten Madsen , Lærke Enemark マッズ・ヨハンセン、 トルベン・ソットル ップ カールステン・マドセン、 レルケ・エネマ ルク
8	2 Metros 2メートル	アルゼンチン	06分10秒	Javier Mrad , Javier Salazar Eduardo Maraggi ハビエール・ムラド、 ハビエール・サラザ ール、 エドゥアルド・マラッキ
9	Kroshechka-Khavroshechka クロシェチカ- バブロシェチカ	ロシア	13分10秒	Inga Korzhneva インガ・コルジュニェヴァ
10	Lost in Snow ロスト・イン・スノー	ラトビア	07分28秒	Vladimir Leschiiov ウラディミール・レスチョフ
11	Breakfast ブレイクファスト	ポーランド	02分17秒	Izabela Plucinska イザベラ・ブルシンスカ
12	Dialogos ディアロゴス	エストニア	04分42秒	Ülo Pikkov ウロ・ピコフ
13	Guardian "Rhythm of Life" ガーディアン 「リズム・オヴ・ライフ」	カナダ	00分30秒	Steve Angel スティューヴ・エンジェル
14	Lovesick ラヴシック	スロベニア	08分33秒	Spela Gadez シュペラ・カデツ
15	Bottoobahtoh ボットゥーバートー	スイス	03分00秒	Marina Rosset マリーナ・ロゼ
16	Urban 2002 アーバン 2002	ベルギー	02分13秒	Lars Lambrecht ラーズ・ランブレヒト
17	Proud Mouse プラウド・マウス	ロシア	11分28秒	Natalya Berezovaya ナタリヤ・ベレゾヴァヤ
18	Cyber サイバー	ドイツ	05分05秒	Stefan Eling シュテファン・エリング
19	Madame Tutli-Putli マダム・トゥトゥリ- プトゥリ	カナダ	17分15秒	Chris Lavis , Maciek Szczerbowski クリス・ラヴィス、 マチェック・ シェバウスキ

4. 本審査（コンペティション）について

本審査（コンペティション）は、平成20年8月7日（木）から10日（日）までの4日間、アステールプラザ大ホールの夜のプログラムにおいて、選考審査で選ばれた76本の作品について公開審査を行います。

審査を行う国際審査委員は、日本人1名、外国人5名の計6名の予定。グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、ルネ・ラルー賞、観客賞、国際審査委員特別賞及び優秀賞の受賞作品は、フェスティバルの最終日の11日（月）に発表され、表彰式の後、上映されます。

5. 会場位置図

アステールプラザ 広島県広島市中区加古町4番17号

電話：082-244-8000

【JR広島駅から】

市内電車利用の場合

宇品行（紙屋町経由）－市役所前下車（600m） 江波行－舟入町下車（400m）

バス利用の場合

広島バス24番 吉島営業所行または吉島病院行－厚生年金会館前下車（200m）

タクシー利用の場合

約15分

